

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和6年2月8日(木)
第31号

◆『就職に向けての取り組み』として◆

本校で、北九州障害者しごとサポートセンターのプロモーター事業の一環として、「就職に向けての取り組みについて」と題して、学校説明会が実施されました。

当日は、企業からの特別公演や北九州障害者しごとサポートセンター所長様より「働くために必要な準備について」の講話、福岡障害者職業能力開発校(能開校)からは、特別支援学校早期訓練コースの紹介などがありました。

企業からの特別公演として『東洋食品株式会社』本社管理部統括部長様から「障害のある方の就労現場から」という題目で講演をしていただきました。

『東洋食品株式会社』は、本社が門司区にあり、北は青森県から南は沖縄県まで展開している企業で、西日本を中心にスーパーのテナント惣菜業者として、234店舗(令和5年10月19日現在)あり、従業員数は2,457名(うち女性は2,250名)の会社です。本校の卒業生も多数働いており、今年の産業現場等における実習でも、大変お世話になっています。

『東洋食品株式会社』では、下記の2点をコンセプトとしているとのことでした。

①非効率化もありませんが スーパー内で調理をして 手作りの惣菜をお客様にご提供(工場からの搬入は一切していません)

②食品の安心安全を確保するため 従業員や厨房内の衛生指導及び改善指導の実施

会社として求める人物としては

元気よく「挨拶」「返事」ができる人だそうです。いくら仕事ができても、挨拶や返事ができない人は、採用を見送るとのことです。仕事に関しては、会社や同僚が教えていくとのことでした。

障害者雇用の取り組みとして

採用前は、産業現場等における実習や特別実習を通して、『東洋食品株式会社で働いてみたい』と思っていただき、採用後は6か月経過後に振り返りを行い、働く上での課題を本人に伝え、解決していくようにしているそうです。雇用形態に関しては、本人の希望で決め、仕事内容は、本人の能力や適性をみて決定しており、スモールステップで仕事ができるように取り組んでいるとのことでした。

保護者の方へ協力していただきたいこと

① 色々な仕事の経験や本人が興味を持った仕事への後押し

同じようなことばかりしても経験が広がらない

無理に嫌な作業をさせても続かない

② 実習したのちに本人が思った課題克服への協力

一番の相談相手は家族 信念を持って仕事に取り組んでいるか

③ 自立した生活への支援

家庭では自分でできることは本人にさせる 会話の大切さ 規則正しい生活 家事手伝い

最後に、「保護者が本人に対して何でもしてあげるのではなく、企業就労するのであれば、

自分の力で解決できることが大切です。」とのことでした。

北九州障害者しごとサポートセンター所長の講話内容は、進路だより32号でお伝えします。

